

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	競艇場（職員）	来客数の動き	・今月中旬より新しいスタンドがオープンしたこと と、今月25日から30日まで、全国発売の大きいレース を開催しているため来客数がかなり多くなっている。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・衝動買いはほとんどないが、多少欲しい物は買うと いった客の様子がある。
		一般小売店〔印 章〕（営業担 当）	販売量の動き	・これまで低価格商品以外には動きが少なかったもの が、個人の実印の注文などに動きが出てきている。
		百貨店（営業企 画担当）	お客様の様子	・世の中の動きが良くなってきたことに加えて、当店 が閉店セールを開催していることから、客の財布のひ もが緩くなっている。 ・客が当面必要がないと思っている物でも、その場の 雰囲気商品を買っている。
		百貨店（売場担 当）	来客数の動き	・ヤング系は非常に好調であるとともに、ミセスはサ ンダルなどセールの買い控えなどがなく、ヤング以上 に売上が伸びている。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・1人当たりの買上点数が増加しているのと同時に、 来客数も増加している。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・買上点数が0.2ポイント、客1人当たりの買上金額 が35円上昇している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・客の買上単価は例年並みで推移しているが、来客数 は例年と比べて106%で推移しているため、トータル の売上は例年と比べて105%と好調に推移している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・来客数が増加しており、食品を中心にやや改善傾向 が見られる。
		スーパー（経 理担当）	お客様の様子	・不況の節約の反動で少し上向いている。
		乗用車販売店 （所長）	販売量の動き	・新型車が5月、6月と相次いで出たために、販売量 が例年の130%に上昇している。
		一般レストラ ン（店長）	来客数の動き	・サッカーワールドカップ開催で、来客数が日本戦の 日には減っているものの、それ以外の日には増してい る。
		都市型ホテル （スタッフ）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響で、レストランで外 国人の来客数が増加している。
		テーマパーク （広報担当）	来客数の動き	・相変わらず団体客は減少傾向にあるが、個人客の増 加がそれを補っており、全体の来場者数は例年より微 増している。
		住宅販売会社 （経理担当）	販売量の動き	・各モデルルームへの来場者数は依然として低迷して いるが、契約戸数が増加しており、高額物件の契約も 出るようになってきている。
	変わらない	百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・客はいくら安価であっても、その価値を認めた必要 最小限の品しか購入しない。
		百貨店（販売促 進担当）	単価の動き	・来客数は例年並みをクリアしてるが、客単価は4～ 5%のマイナスである。 ・客の単品購買志向が顕著である。
		百貨店（営業企 画担当）	販売量の動き	・一般の食品等の単価が下がってきて、販売額が上げ り切らない。逆に青果物やTシャツ等については販売 額が上がっており、トータルでは現状維持をしてい る。
		百貨店（売場担 当）	お客様の様子	・今月末よりクリアランスセールが始まるというこ とで、客の買い控えがかなり目立っており、それを防ぐ ために秋物を展開しているが、例年以上にそれを求め る客が少ない。
		百貨店（売場担 当）	来客数の動き	・今月の上半まではそこそこで推移していたが、中旬 以降来客数の落ち込みが激しく、定価販売が厳しい状 況にある。
スーパー（総務 担当）		単価の動き	・青果物の単価が上がってきているが、ビールから発 泡酒へのシフト等、安価な物への移行が定着してお り、客単価が上がらない。	
スーパー（店 長）		来客数の動き	・客はうまく店を買いまわりしており、来客数が近隣 の競合店の販促、イベント等で左右される。	
スーパー（店 員）		お客様の様子	・広告売り出し初日の買物、もしくは広告商品のみ の買上が目立つ。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店員）	単価の動き	・客数は例年に比べ増えているが、客単価が上がらないので、売り上げ自体は変わらず横ばいである。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・客は品物を吟味して買う傾向が強く、リーズナブルな物を求める傾向がある。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・サッカーワールドカップで客の動きに変化がみられ、来客数が増加したが、あくまでも一時的なものに留まっている。 ・買上単価はいまだに下げ止まっておらず、上向きの傾向には至らない。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・客数は例年並みですと維持しているが、客の買上個数がずっと縮小したまま続いている。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	単価の動き	・客の低価格志向は変わらないが、価格全体が低くなっており、落ち着きが出てきている。 ・父の日プレゼント等での購入が多くなり、プライダ関連もよく動いている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・季節商品などは動きが良いが、パソコンを含めた他の大型商品の売行きが良くない。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・例年だと6月中旬からボーナス商戦に入り、来客数が4月、5月より大幅に増加するが、今年はその盛り上がりには欠け若干の増加しかない。 ・サッカーワールドカップの影響で客足が伸びない。
		パチンコ店（企画担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップで良い影響、悪い影響ともあまり受けていないが、全体的にここ数か月間の動きとして、来客数に変化がない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・商店が2店閉店になり、商店街に集客力がなくなってきた。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	お客様の様子	・客数は多いが客の購買力がなくなってきた。 ・客は店に楽しみには来ているが、普段の物を適当に買う程度で、それ以外は買って行こうという意識がないため、直接売り上げに結び付かない。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月については、ワールドカップの影響で、日本が勝ったときには午前中は非常に良い売行きだが、3時以降は客足が鈍り、非常に売上に影響が出ている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・客単価変化はないが、来客数が大幅に減少している。特に紳士関連への来客数が際立って減少している。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・小型車は販売数が上昇しているものの、来客数が大幅に減っている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年に比べて来客数、販売数ともに少し低下している。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・販売台数が山口県全体で例年を下回る数値で推移している。
		その他専門店〔カメラ〕（地域ブロック長）	来客数の動き	・商品の売れ筋が大きく変化し、今までとは違った物が売れ始め、客層にも若干の変化が出ている。そのため客の流れも変わって、来客数に大きく響いており、担当地域はすべて不振を極めている。
	高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・来客数に変化はないが、飲み放題パックが低価格の設定に移行している。	
	一般レストラン（営業担当）	来客数の動き	・客の来店頻度が減少している。 ・夜の集客が厳しい状況下で、サッカーワールドカップは飲食店にとってマイナス要因になっており、それに連動した企画を行ったものの、効果が出せずに終わっている。	
	旅行代理店（団体営業担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響から客足が非常に弱まっている。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・サッカーワールドカップがあったため、試合によっては夜の繁華街が非常に暇になり、売上が大きく低下している。	
	タクシー運転手	単価の動き	・公共交通機関に乗り換える客が増えているため、1回当たり単価が低下している。	
	ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・少しでも安い物に客が動く傾向が、ますますひどくなっている。	
	レジャー施設（営業企画担当）	来客数の動き	・日帰り温泉部門はサッカーワールドカップの影響などから、来客数が例年より1割減少している。 ・客層では年配層は変わらないものの、中年層、若年層の入館数が減少している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	家電量販店（店 長）	販売量の動き	・エアコンの売行きが悪く、A V関係の売上は最悪である。
		その他専門店 〔書籍〕（店 員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、来客数が減少している。
		スナック（経営 者）	競争相手の様子	・サッカーワールドカップの試合がある日は、来客数が大きく減少している。
		都市型ホテル （従業員）	来客数の動き	・来客数も減少しているが、客のオーダー単価も下がっている。
		都市型ホテル （営業企画担 当）	来客数の動き	・例年より県内の観光客、宿泊客とも明らかに減少しており、特に日曜日、月曜日の落ち込みが激しい。サッカーワールドカップの影響もあるものの、これといった特定の理由は見当たらない。
		旅行代理店（経 営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、客の動きが非常に良くない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・農繁期とサッカーワールドカップとが重なり、タクシーの売上は最悪の状態である。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		非鉄金属製造業 （経理担当）	受注量や販売量 の動き	・販売価格は低迷したままであるものの、受注量、販売量は徐々に回復してきている。ユーザーの動向からも一時的IT不況からは脱しつつある。
		電気機械器具製 造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・急速に受注が回復しており、例年の150%の受注量になっている。
		輸送用機械器具 製造業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・販売好調による製造部門の人員不足により、販売及び管理部門からの応援を実施している。
	変わらない	建設業（経営企 画担当）	受注量や販売量 の動き	・今まで様子眺めをしていた食品会社やサービス関係の会社が、生産ラインの増強やサービス施設の更新の前準備として設計業務を依頼してきている。
		化学工業（総務 担当）	受注量や販売量 の動き	・有機化学品、樹脂などは依然として需要が低迷している一方で、電子材料は若干需要が回復し、化学品は一部需要の伸びがあり、回復の感があるものの、現状ではその効果が出てきていない。
		窯業・土石製品 製造業（統括）	受注量や販売量 の動き	・IT関連業界は在庫調整が進展により市況が回復しており、受注量も上昇しているが、鉄鋼業界では市況回復がみられず、受注量の大幅減が続いている。 ・同業他社との競争が激化し、販売価格の著しい下落を招いている。
		電気機械器具製 造業（広報担 当）	受注量や販売量 の動き	・受注量の確保でき、部品については好調が維持できているが、完成品については低迷している。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・下がったところから急激な低下もないが、今のところ改善の見通しも全くない。
		建設業（営業担 当）	競争相手の様子	・競争見積りで以前より無理した金額が出なくなっている。
		輸送業（総務担 当）	取引先の様子	・大幅な値下げを行っており、状況は悪いままで変わらない。
		輸送業（総務担 当）	取引先の様子	・取引先で倒産するところが続いている。
		輸送業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・既存の取引先からの出荷量、受注量が落ち込んでい る一方で、新規客の開拓で売上は例年と比較して増加 している。
		通信業（社員）	受注価格や販売 価格の動き	・受注の際に原価ぎりぎりのところまで価格を下げられ、ときには赤字覚悟で受注する状況がまだ続いている。
		通信業（営業担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・低価格インターネットの普及も影響し、企業イント ラネット構築等の提案折衝において、品質や性能より 当面は価格優先との傾向がまだ根強い。
金融業（業界情 報担当）	取引先の様子	・取引先の多くが受注量がほぼ横ばいで、受注単価は低下している状況にあるが、コスト削減により採算を確保している。		
不動産業（経営 者）	取引先の様子	・取引先の状況が上向きになっている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		広告代理店（営業担当）	競争相手の様子	・6月始めに広告会社が倒産したことにより、CMを流していた放送局で1億円以上の損金が発生し、チラシ、電波を中心に展開している代理店はさらに淘汰される状況にある。
	やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当） 金属製品製造業（総務担当）	取引先の様子 受注量や販売量の動き	・取引先からの電話が少なくなっている。開発や生産に対する委託の知らせが少なくなっている。 ・売上が3か月前と比べて低いままである。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・3か月前は企業の絞り込みがきつい傾向にあったが、現在は若干求人の引き合いが増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・人材派遣はオフィス関連の需要が低下傾向にあるが、製造業における生産が回復傾向にあり、アウトソーシングによる求人が活発になってきている。 ・雇用は職種によって強弱感があり、全体としてあまり変わらない。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・人に対する企業の投資というところで、コストセーブ、欠員補充停止、新規採用停止の動きがずっと続いており、広島県において特にこれ以上悪くなる傾向にはないが、上向きになるという状況にはない。 ・雇用形態が正社員から非正社員に著しく移ってきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・わずかながら動きが出始めた求人広告は、6月になってまた動きが止まっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規休職者の上昇が依然続いている。 ・試験による就職に関して採用にならないケースが増加している。
		民間職業紹介機関（職員）	それ以外	・企業の採用に対する姿勢がより慎重になっており、その現象の一つとして、採用に至るまでの面接回数が1回増えるようになってきている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数の減少傾向が続いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・小売店で社員が解雇され、パートに切り替えられている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・電気部品製造業と建設業での求人数の落ち込みが大きく、有効求人倍率が過去最低水準で横ばいとなっている。
	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・採用内定者数が例年と比べて減少している。	
	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・採用数が伸びておらず、学生が就職で苦戦している。	
	悪くなっている	-	-	-